

「第8回 謎の女帝・飯豊天皇と 布施城ゆかりの置恩寺を巡る」

大阪 奈良 歴史街道リレーウォーク
～第3幕記紀万葉の地をたどる～

謎の女帝・飯豊天皇・柿本人麻呂ゆかりの神社・そして
布施氏にまつわる置恩寺・慶雲禅寺などを訪ねます



柿本神社

記僧正の作と伝えられている柿本人麻呂像



置恩寺十一面観音



マスコット
蓮花ちゃん

葛城市観光ボランティアの会

領収書

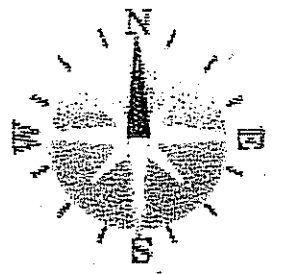
¥200-

ただし、ウォーキング資料代・団体保険として
平成27年4月18日

葛城市観光ボランティアの会 会長 松下 和美

「第8回謎の女帝・飯豊天皇と
布施城ゆかりの置恩寺を巡る」

全行程 8 km弱



布施氏の菩提寺となっている臨濟宗南禪寺派の寺です。本堂の大悲閣は大きめの三間堂で正徳年間に建てられたものです。境内に布施行種(ふせゆきたね)らの墓があります



② 慶雲禅寺

祭神は「万葉集」第一級の歌人と称される柿本人麻呂(かきのもとのひとまる)です。石見国(島根県益田市)で没した人麻呂を770年に改葬して、かたわらに社殿を建てたのが始まり



① 柿本神社・影現寺

歴史の表舞台から立ち去った最初の女帝と言われる飯豊天皇の墓です。「古事記」・「日本書紀」によると、角刺神社(つのだしんじや、葛城市歴史博物館南隣)で政務を執り行ったことが伝えられています



葛城市役所
スタート

⑤ 飯豊天皇埴口丘陵

布施氏の氏寺です。奈良時代のはじめ、行基(ぎょうき)が創建したと伝えられています。桧一本造りの十一面観音立像が国の重要文化財に指定されています



③ 置恩寺



④ 屋敷山公園
(相撲甚句披露)



屋敷山古墳とは 5世紀の中頃の築造とされる前方後円墳(全長135m)で、古代豪族葛城氏に関係するといわれ、国指定史跡です。園内には石室の蓋石が展示されています

角刺神社は、飯豊青皇女(いいとよあおのひめみこ)が政(まつりごと)を行った忍海角刺宮跡として知られています。日本書紀によると、飯豊青皇女(いいとよあおのひめみこ)は2人の弟が天皇の位を譲り合い、長く位につかなかつたため忍海角刺宮で政を行い、自ら忍海飯豊青尊(おしみいとよあおのみこと)と名乗った、と記されています



⑥ 角刺神社



⑦ 歴史博物館